



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」  
R.I. 会長 ロン D・バートン  
地区ガバナー 吉 田 建 二  
クラブテーマ 「参加し行動しよう」  
クラブ会長 藤 掛 靖 元

## 本日の卓話

「更に進化する日米関係 — 新しい駐日大使をお迎えして」  
オレゴン州駐日代表 目代 純様

## 今後の卓話予定

11/ 6 「そうだったのか公的年金」 社会保険労務士 安中 茂様  
11/13 IMへ移動例会 IMは11月4日 ビューホテル  
11/20 炉辺会合報告 各炉辺グループ代表者  
11/27 「米山・財団積立金について」 ロータリー財団

2013年10月30日

第1335回例会

会長 藤掛 靖元  
幹事 伊石 佳高

## 前回 (10/23 1334 回例会) の記録

### 来訪者紹介

◆ゲスト 2名 河村 英朗 様  
(学)立教学院理事長 池袋西R.C. 糸魚川 順 様  
◆ビジター 2名 東京足立R.C. 北澤 艶子 様  
東京リバーサイドR.C. 栗原 正雄 様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	3名	3名	36名	4名	90.00%	1332回例会修正 欠席0名・出席率100%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

### 会長報告 <藤掛会長>

・先週の金曜日、土曜日と取引銀行の支店の親睦旅行会出雲大社へ行ってまいりました。60年ぶりの平成大遷宮を迎え大変な混雑でした。驚いたのが若い女性と若いカップルばかりで、あたかも原宿の竹下通りか、女子大キャンパスに足を踏み入れた感がありました。主祭神の大国主大神様は単に男女の縁を取り持つだけでなく、生きとし生けるものの命の幸せの縁を結び育まれ衰えた精神力や生命力を活性化、蘇生復活のご神徳がお有りになるとお伺いし、ふと思った

のがロータリーです。お互いに良いご縁で結ばれた方々の集まりにこそロータリークラブではないか。また、新しい方とのご縁を結んでゆく、これが正に増強です。増強とは縁結びですね。皆さんとのご縁を深くし、新しい方とのご縁をたくさん結んでゆく、その心が明るくクラブの雰囲気を作る基となると思いました。出雲大社を参拝いたしましたして縁を結ぶということを考えさせていただいた訳ですが、その心を大国主大神様が教えてくれたと思い感謝の念で参拝させていただきました。

## 幹事報告<伊石幹事>

- ・本日、皆様のポケットに新入会員候補2名の方のプロフィールを入れました。会員の皆様に一週間ご審査頂きますので、宜しくお願い致します。
- ・先日の復興市がJCOM台東にて『ほっとセレクション台東・すみだ』の番組名にて放送されております。皆様のポケットにご案内を入れさせて頂きました。ぜひご覧ください。

## 委員会報告

### <職業奉仕委員会 中村委員長>

- ・地区職業奉仕委員会制作の「ロータリー物語」のDVDを紹介致します。1部500円です。ご利用下さい。

## ニコニコボックス

### <藤掛、伊石>

- ・糸魚川順様、本日の卓話よろしくお願致します。

### <藤田>

- ・来たる29日(火)~11月6日(水迄)の9日間トルコに行きます。ロータリーは2回欠席しますが、メーキャップで穴埋めしたいと思っています。

### <古谷>

- ・アップル社からi pad air が発売されます。絶対買うぞ。

### <天笠>

- ・先週、念願の出雲大社へ行ってまいりました。何とか無事2泊3日の楽しい旅をしてまいりました。まだまだ階段がむづかしいです。

### <原田>

- ・日本シリーズ、巨人対楽天。マー君対巨人打線、面白い試合になりそうです。どちら

のチームもガンバッテください。

### <大塚、宮村、海内>

- ・伊豆大島台風26号による土石流に襲われ、未だ行方不明者が多数。追い打ちをかけるように台風27号が北上。島民の皆様十分気を付けてください。

### <上原、山尾、藤田、天笠、斎藤、太田、永井、岩戸、植木>

- ・本日の卓話「私のひとり言」学校法人 立教学院理事長 糸魚川順様、宜しくお願い致します。



## 「私のひとり言」

— ミッションスクール・立教 —



学校法人 立教学院理事長

糸魚川 順 様

カトリック教の総本山バチカン公国の外務省は、所管国を地理上の区分ではなく、キリスト教徒が大半を占める国を非ミッション国、その逆をミッション国(日本、中国等)と分類し布教に努めている。日本の国・公・私立大学はそれぞれ目的を持って設立されたが、その中でキリスト教ミッションスクールの大学は、今改めてその存在が問われているのではないか。

NHK大河ドラマ「八重の桜」での苦労話はさておき、英国聖公会のミッションスクールである立教はどうであろうか。英語で西洋文明と聖書を学ぶことで創設された立教は、ヨーロッパの大学の骨格をほぼ引継いでおり、リベラルアーツと専門科目が車の両輪となっている。キリスト教精神を基に、良き社会市民の育成が目標で、今もその伝統が継承されている。官僚、法律家、実務家、引いては立身出世に役立つ教育を目ざした他校とは性格が少し異なるのではないか。

さて、50年後戻って来て初めて創設の目的、自校の魅力等改めて知ることになり、また多くの感動的な出会いに少なからず遭遇することになった。

昨年、提携先のハーバード大学アジア研究所長P教授(女史)の来校を受けた。両親共、チャペル内にお墓があり、有志で礼拝を行った。父親は、昭和30年代他大学の酒気帯びた学生の暴力により、キャンパス内外人住宅の玄関先で倒れ、翌日死亡。文部省も動き出す程の大事件となった。葬儀の後、加害者学生の母親が謝罪の為、P夫人との面談を願い出、許された。

P夫人は「この悲惨な出来事は、神様の深いご計画“定め”であり、この事実を私は受け入れます。私の悲しみより、あなたの悲しみがどれだけ深いか理解出来ます。主人は息子さんを許すように申しました。それでいいのです。私も主人と同じ気持ちですよ。私はキリスト教徒として、あなたは仏教徒としてそれぞれの神様にお祈りしましょう。」祈りが終わった後、二人は抱き合っただけで号泣したとの記録が残っている。その時P女史は7才。きっと玄関先での惨事を見ていたにちがいない。私は墓前での礼拝中、キリスト教の愛は絶対的自己犠牲、命を投げ出す覚悟があるなど思った。

多くの大学には、歴史の中で実に多くのすばらしい出会いがあると思う。人生のラスト・チャプターを書くつもりで理事長をやっているが、まだ勉強が足りない。

## 春 秋 (日本経済新聞から 2013.10.11)

「言葉尻だけを捉えるのはつまらない話です」。政治家の言葉をやり玉にあげるマスコミに、6年前に死去した作家の城山三郎がくぎを刺した。ただ「その人の本質を表すような言葉が出たときには、それはもう容赦なく批判すべきですね」(『気骨』について)。

▼これから書く話は城山さんも分かってくれるだろう。安倍首相が水俣条約の会議に寄せたメッセージで「水銀による被害と、その克服を経た我々だからこそ、世界から水銀の被害をなくすため先頭に立って力を尽くす責任がある」と述べた。これに水俣病患者の側から「被害は克服されていない」と反発が出ているという。

▼「原発の汚染水はコントロールされている」という五輪招致演説に重なる何ものかを感じとった人も多いのではないかと。国際舞台で、外向けに、日本の実力を誇って胸を張る。見えを切る姿は頼もしくもさえあるのだが、国内で現にいま苦しんでいる人々へのまなざしが感じられない。考えてみればどちらも同じ構図である。

▼五輪を東京で開く。世界を水銀の汚染、あらたな水俣病から守るために指導力を発揮する。どちらも大義ある話だ。首相が国を引っ張るのも当然だろう。しかし、その公式発言に「コントロール」や「克服」が紛れ込む。二語に共通する何ものかは「言葉尻」なのか。いや、どうしても「本質」と思えてならないのである。